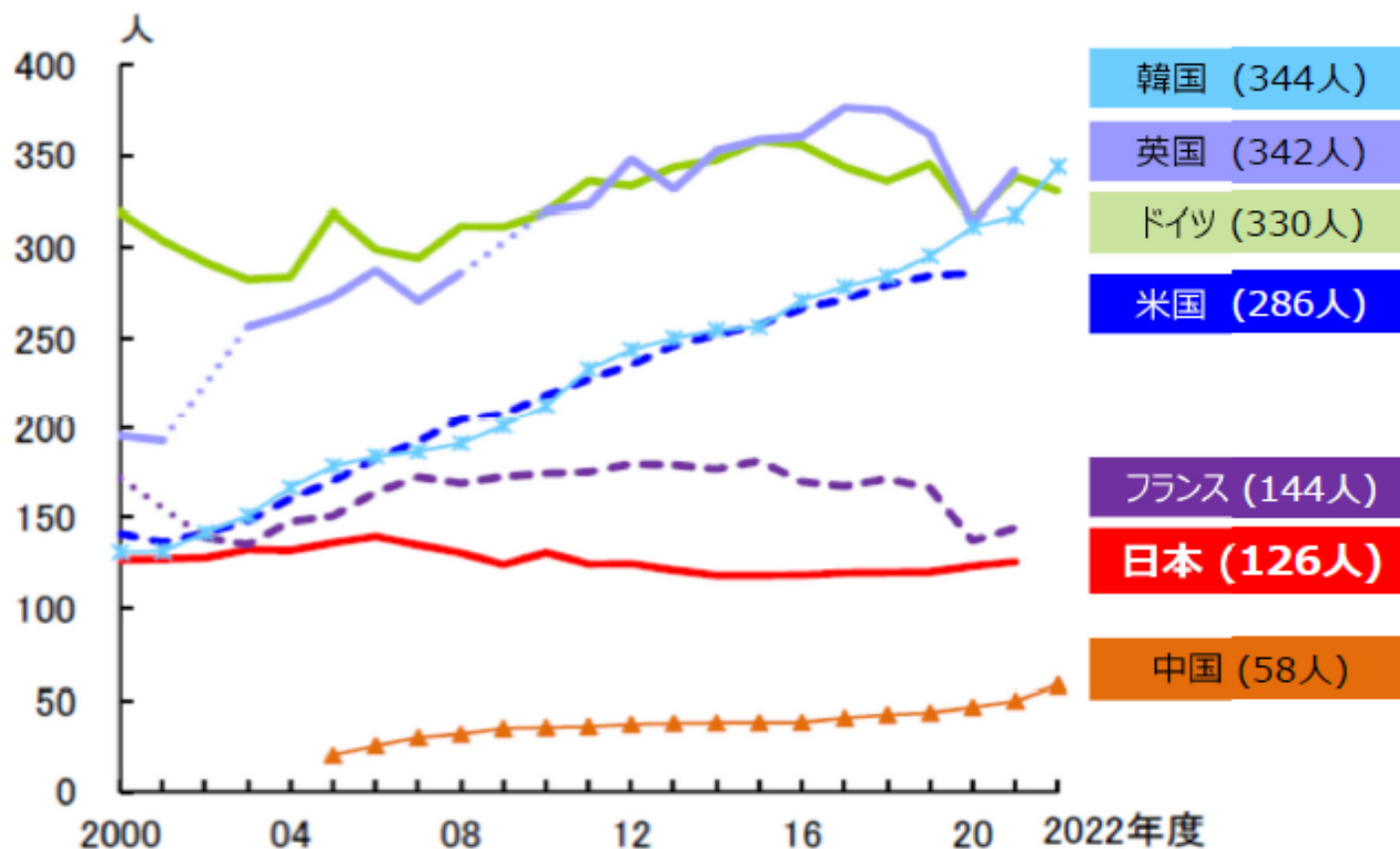


研究力の抜本的な強化に向けて

2025年 5 月26日
十倉議員提出資料

諸外国では、**博士号取得者数**が増加傾向である一方、わが国では**低水準かつ横ばい**で推移

図1. 人口100万人当たりの博士号取得者数の国際比較



(注) 米国は2020年度、フランス・日本は2021年度、英国・ドイツ・韓国・中国は2022年度のデータ

国際卓越研究大学等の大学ファンドによるトップ校支援の加速（**高さの引上げ**）と基盤的経費の拡充等（**裾野の拡大**）の双方を行うことにより、**研究者が十分な資金と時間を得ることで、基礎研究を充実し、研究力を抜本的に強化**

図2. 高さの引上げと裾野の拡大

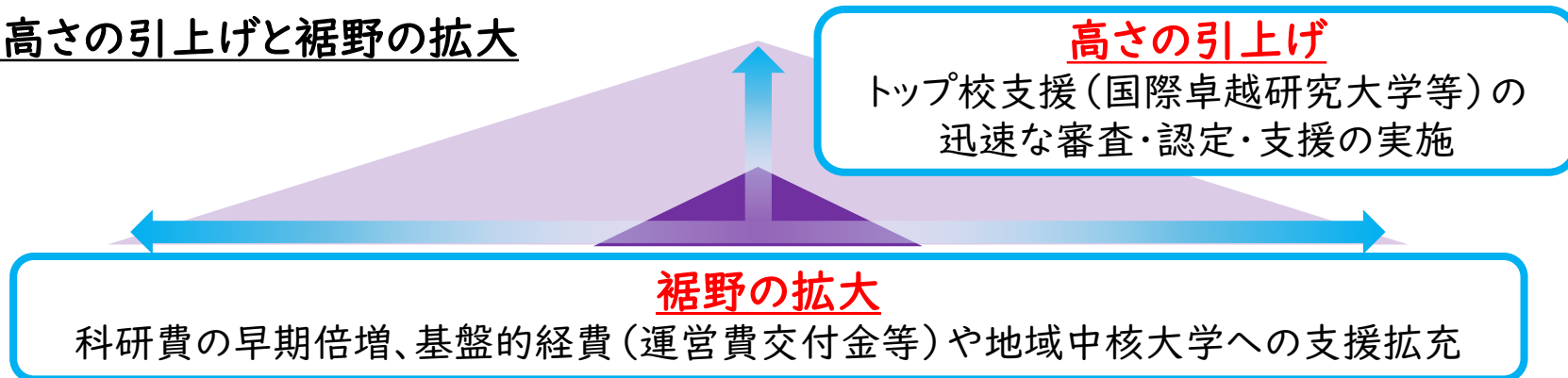
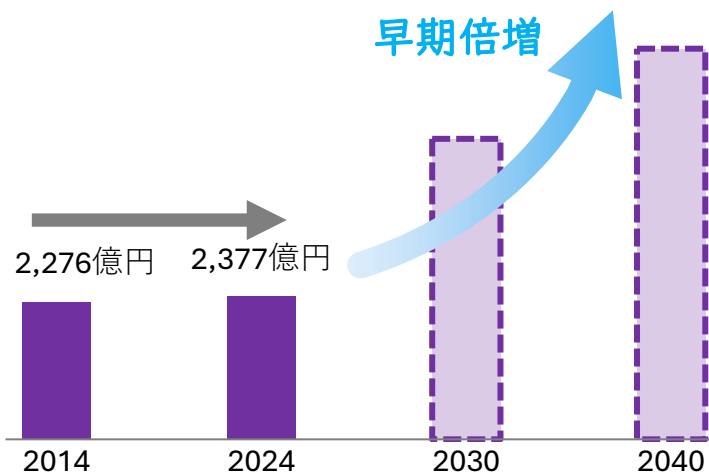


図3. 大学への資金拡充

科研費（科学研究費助成事業）拡充のイメージ



出所：経団連「FUTURE DESIGN 2040」より一部加工